

# フレキソ製版業界の 化学物質取扱いに関する 現状について

職場における化学物質等の  
管理のあり方に関する検討会資料

2019/12/6

全日本フレキソ製版工業組合



# フレキソ製版会社と化学物質の接点

## フレキソ製版の工程概要



### デザイン制作

- 版下作成
- ネガ原稿フィルム作成



### 感光性樹脂製版

- UV露光



### 感光性樹脂製版

- 溶剤洗浄
- 乾燥
- 仕上げ露光



### 整版

- 印刷用レイアウト
- シーリング加工
- 校正刷り作成

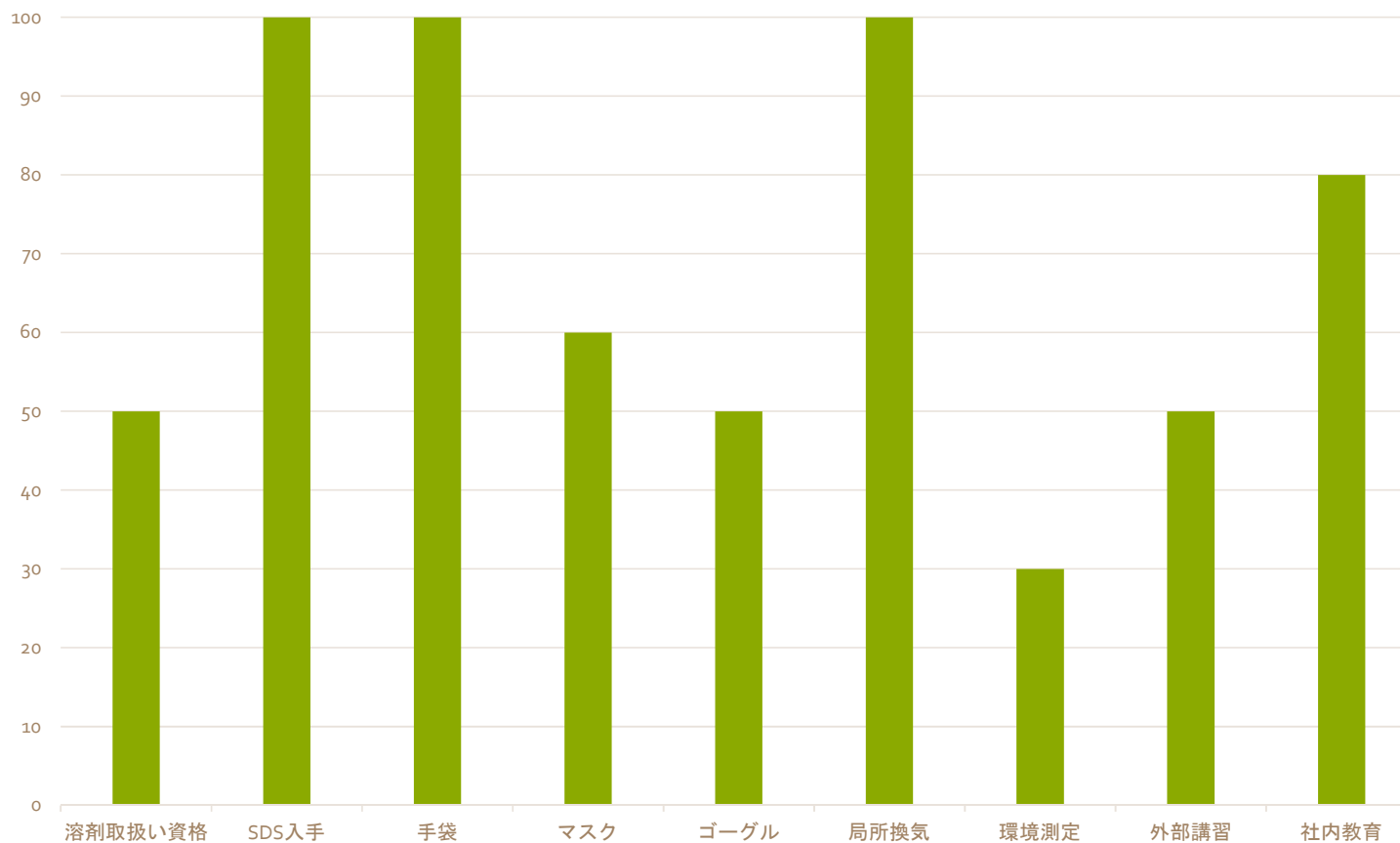
- 改質ガソリンを製造する際の残油
- イソブチルイソブチレート
- 2-メチルプロパン-1-オール
- ベンジルアルコール
- ジイソプロピルベンゼン
- デカヒドロナフタレン
- 2-エチル-1-ヘキサノール
- など

- イソプロピルアルコール
- トルエン
- など

# 説明の主旨

- 当組合における化学物質管理に対する取組状況
  - 2013年11月 技術研修開催  
テーマ:有機溶剤利用に関わる安全基準 講師：大木俊博氏 デュポン株式会社  
テーマ:有機溶剤利用に関わる一般知識 講師：佐々木真治氏 ダイソーケミカル株式会社
- 当組合員個社における化学物質管理に対する取組状況事例
  - 取扱いに関する意識の低さが課題
  - 有機溶剤販売会社による化学物質取扱いからSDSの読み方など講習の実施
- 現在及び将来に向けて化学物質管理に関して課題と捉えている事項
  - 大手化学メーカーから供給を受ける（感光性樹脂と同じルート）ため、  
★危険物としての認識が薄弱 ★管理もルーズになりがち ★供給を受ける際にも指導例は稀少
- 現行の化学物質に関する法制度についての要望等
  - 洗浄溶剤として化学物質購入時に、効用についての説明はあるが危険性についての説明が少ない

# アンケート調査の結果



実施年月/ 2019年9月

調査対象/全日本フレキソ製版工業組合組合員 29社

有効回答/16社

# 全日本フレキソ製版工業組合

## • 沿革

- 昭和52年（1977）組成 フレキソ製版業者の全国組織として工業組合を設立。
- 昭和54年（1979）中小企業近代化促進法に基づき、政令第300号で指定業者となる。
- 昭和56年（1981）政令第329号で特定業種に指定。構造改善事業を開始。
- 平成16年（2004）第3次構造改善事業が完了。
- 平成29年（2017）設立40周年で記念事業開催。 現在に至る。

## • 組織

- 全国8支部で構成される。北海道・北陸・信越・関東・中部・関西・四国・九州の各支部。
- 組合員数 29社

## • 所在地

- 〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩4丁目34-15

# 【参考：水性フレキシソ印刷の特長】

A3 パネル①

エフビコ株式会社 × TOYOINK

## 水性フレキシソ印刷

「地球環境・人にやさしい次世代の印刷」



クリーン



エコ



安心



安全

水性フレキシソ印刷とは、VOC(揮発性有機化合物)をほとんど排出せず、CO<sub>2</sub>を大幅に削減できる水性インキを使用し、大気汚染などの環境負荷を軽減できる印刷方式です。

安心・安全が求められ、衛生面を重要視する食品包装などへの印刷を得意としています。

近年の画期的な技術の進歩により、繊細で鮮やかな色を再現します。

フレキシソ印刷は  
**インキ使用量が少ない**  
からやさしい

水性インキは  
**VOCをほとんど排出しない**  
からやさしい

TOYOINKTOYOINKGROUP

# 【参考：水性フレキシソ印刷の特長】

A3 パネル②

